

石川県立金沢泉丘高等学校通信制課程 令和8年度シラバス

教科	科目	単位数	対象年次	履修	期別	開講時間	必要面接時数	レポート通数
芸術	音楽Ⅰ	2	原則2年次	選択必修	通年	12	8	6

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	曲想と音楽の構想や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表現している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。

期	レポート回	題材	学習の内容	評価方法			スケジュール 回
				知・技	思・判・表	主体的	
前期	第1回 第2回	西洋音楽の歴史	・曲の特徴を捉える。 ・作曲者が曲に込めた思いを理解する。 ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景, 他の芸術との関わりを理解する。	レポート	レポート	レポート	第1～4回
		日本歌曲に親しむ	・日本語の発音に注意して歌う。 ・楽曲にある強弱, 速度の関わりを理解する。 ・歌詞の内容, 曲想を理解し, 楽曲に合わせた表現をして歌う。	レポート 実技試験	レポート 実技試験	レポート	
		イタリア歌曲に親しむ	・イタリア語の特徴と旋律の関わりを理解する。 ・歌詞の内容, 曲想を理解し, 楽曲に合わせた表現をして歌う。	レポート 実技試験	レポート 実技試験	レポート	
後期	第3回	世界の諸民族の音楽から見えてくるもの	・世界各地の様々な音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解する。 ・それぞれの音楽の共通点や違いについて考える。 ・社会にとっての音楽の意味や価値について考える。	レポート	レポート	レポート	第5～12回
	第4回	我が国の伝統的な音楽に触れる	・日本の民謡の特徴と文化的・歴史的背景について理解する。 ・西洋音楽との共通点や違いについて考える。 ・篠笛の基本的な奏法を学習する。 ・日本の音階を用いた旋律を創作する。 ・音楽著作権について理解する。	レポート	レポート	レポート	
	第5回						
	第6回						

使用教科書等	- 教科書：「音楽Ⅰ改訂版 tutti+」（教育出版） - 学習書：「音楽Ⅰ tutti+」（NHK出版）
放送視聴	NHK高校講座「音楽Ⅰ」 面接指導4回分（20分番組×3で1回分）まで免除可能。年間計画表を確認すること。